

令和5年度鴨川市いじめ問題対策調査会 議事録

日時 令和6年1月31日(水)
午後1時から午後2時20分まで
場所 鴨川市役所天津小湊支所2階会議室

出席者

委員出席者

分野	委員氏名(敬称略)
医療	黒野 隆
心理	奈良 和子
福祉	上野 ひろ子
福祉	石塚 則子
人権	上村 美智代

教育委員会・事務局出席者

所属・職名	職員氏名
学校教育課長	関口 和則
事務局 学校教育課指導主事	石崎 要一郎

傍聴 1人

会議資料

- ・次第と資料(レジメ)
- ・委員名簿
- ・資料A 鴨川市いじめ防止対策推進条例・鴨川市いじめ問題対策調査会規則
鴨川市いじめ防止基本方針・鴨川市いじめ防止基本方針【概要版】
- ・資料B 鴨川市いじめ問題対策連絡協議会について

1 開会(午後1時)

傍聴人、入場。

事務局から本対策調査会の会議の公開、議事録の作成及び傍聴規定等について説明、提案がなされた。委員からの質疑等は特になく、事務局の提案のとおり了解が得られた。

2 挨拶

関口学校教育課長から令和4年度の全国、千葉県、鴨川市のいじめ認知件数の状況や鴨川市の児童・生徒の様子が話された。

3 各委員の紹介

事務局から各委員が紹介され、その後、教育委員会事務局職員が紹介された。

4 鴨川市いじめ問題対策調査会について

事務局から、本対策調査会について説明がなされた。(資料A)

続けて、事務局から鴨川市いじめ防止対策推進条例第19条の説明及び、鴨川市いじめ問題対策調査会規則の説明がなされた。

5 議事

事務局から黒野会長が議長となり、進行する旨の説明がなされた。

黒野議長が、奈良委員を議事録署名人に指名した。

(1) 鴨川市いじめ問題対策連絡協議会の報告について

事務局から1月12日に開催された鴨川市いじめ問題対策連絡協議会の報告がなされた。(資料B)

- ・奈良委員から、年度別いじめ状況調査において、中学校のいじめ認知件数が急激に減少した理由について質問がなされた。
- ・石崎指導主事から、いじめアンケートに書いた数を計上していると説明がなされた。
- ・関口学校教育課長から、アンケート後の聞き取り調査の実施について補足説明がなされた。
- ・奈良委員から、実態の反映やいじめの見落としについての懸念が示された。
- ・上野委員から、学校現場でのいじめ対応自体はない。アンケート用紙に書くことへの抵抗感から、子どもたちは無いに丸をつける傾向にあるのではないかと。今後は、関係機関と学校の連携を強めていく必要があるという意見がなされた。
- ・奈良委員から、アンケートの実施方法と集計方法の検討について意見がなされた。また、QRコードの活用について提案がなされた。
- ・石崎指導主事から、QRコードの活用についても検討したいとの説明がなされた。
- ・黒野議長から、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、令和元年から4年間の授業の実施方法について質問がなされた。また、出席日数が少ないと仲間と一緒に生活する時間が短いので、いじめの対象数が減ってきているのではないかとという質問がなされた。
- ・石崎指導主事から、新型コロナウイルス感染症が流行した令和2年度当初の状況について説明がなされた。
- ・黒野議長から、オンライン活用による、いじめの減少について質問がなされた。
- ・奈良委員から、学校行事の減少によってコミュニケーション機会が減少し、不登校児童生徒の増加傾向や再適応時の疎外感につながることに説明がなされ

た。今後、不登校の児童生徒数やスクールカウンセラーの相談件数、教育相談の件数、保護者アンケート等と連動させて、見えないいじめを再評価する必要があるのではないかという意見がなされた。

- ・ 関口学校教育課長から、全国的に不登校の数といじめの認知件数は共に増加傾向にあり、鴨川市も同様の傾向である。次年度は、データを提示して検証いただきたい。
- ・ 石塚委員から、不登校は、家庭環境や学力も関係していると思う。不登校児童生徒が、社会に出て困らない程度の学力をつける支援はあるのかという質問がなされた。
- ・ 関口学校教育課長から、鴨川市では、令和元年度から令和3年度まで教育支援センターを開設していた。また、今年度からは、一般社団法人「にじいろはうす」に業務委託をして、不登校児童生徒の学習支援をしている。なお、不登校の児童生徒も学級担任がタブレットで授業を配信し、各家庭でも授業を受けられる環境は整えているという説明がなされた。
- ・ 奈良委員から、中学校の特別支援体制といじめ問題との関係について質問がなされた。
- ・ 関口学校教育課長から、小学校及び中学校における特別支援教育支援員の配置について説明がなされた。また、特別支援学級における教職員定数と特別支援教育支援員の配置、またその連携について説明がなされた。
- ・ 奈良委員から、3中学校の適応指導教室の状況について質問がなされた。
- ・ 関口学校教育課長から、長狭中と安房東中には、適応指導教室はなく、鴨川中は、不登校対策の教職員1人が配置されており、教室を開設しているという説明がなされた。
- ・ 奈良委員から、長狭中と安房東中は不登校の生徒がいないのかという質問がなされた。
- ・ 関口学校教育課長から、2校とも不登校の生徒はいるが、不登校生徒に対応する特別な教室はない。鴨川中は、不登校支援のための職員が1人配置されているので教室を開設しているという説明がなされた。
- ・ 奈良委員から、鴨川中の適応指導の人数について、また、教室に通う生徒に対する個別相談のあり方についての意見が述べられた。

(2) 鴨川市が実施するいじめ防止等の対策について

事務局から市が実施する対策について、以下の説明がなされた。

- ・ いじめ問題対策調査会、いじめ問題対策連絡協議会の設置の他、各種施策、相談体制の充実について
- ・ いじめの防止、早期発見のためのいじめ対策について

- ・毎年4月のいじめ防止月間に、広報かもがわに記事を掲載し、市民に向けても啓発を行うことなどについて
更に、各学校が実施する対策についての具体的な内容と保護者の役割、市民の役割、重大事態への対処について説明がなされた。
- ・上村委員から、幼児教育のあり方についての意見が述べられた。
- ・関口学校教育課長から、市が実施する保幼小の連携について、アプローチカリキュラム、スタートプログラムなどの実例をあげて説明がなされた。また、上村委員の提案についても検討するとの説明がなされた。
- ・石塚委員から、学年によっていじめの件数が増大する学年があるのかという質問がなされた。
- ・石崎指導主事から、全国の状況及び本市の状況についての説明がなされた。
- ・質疑のあと、鴨川市が実施するいじめ防止等の対策について、承認された。

(3) その他
特になし

6 諸連絡

- ・石崎指導主事から、次年度の開催日程について、説明がなされた。
- ・関口学校教育課長から、本市において子ども家庭センター設置に向け、準備が進められているという説明がなされた。

7 閉会（午後2時20分）

- ・黒野議長は、一切の終了を告げ、閉会を宣言した。

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により議事録の内容について確認します。

令和6年3月29日

奈良 和子